

9/16
吉報

戦争法案廃案を求める

明治、日本、専修、法政4大学が講演会



戦争法案の廃案を求めて開かれた千代田4大学共同の講演会=15日、東京都千代田区

東京都千代田区にある明治、日本、専修、法政の4大学の「9条の会」や安保法案に反対する教職員有志の会は15日、安保法案の廃案を求める共同講演会を開きました。学者、学生、市民ら210人が参加しました。

元内閣法制局長官の宮崎礼憲教授（法政大学）が「安保法制」法案の違憲性について講演。憲法学の浦田一郎教授（明治大学）が安保法制議論と市民の役割について話しました。

開会のあいさつで、専修大学9条の会呼びかけ人の晴山一穂教授は「講演会を開くと決

めた1カ月前には、8月末には強行採決されているかもしれないと

思っていたが、国民の運動で強行させなかった。参院でも審議のたびに法案の問題が明らかになっている。強行

採決を許すのか、私たちの運動で廃案にさせるか、ぎりぎりの段階だと訴えました。

「九条の会」事務局長の小森陽一教授（東京大学）と明治大学学生有志代表が連帯スピー

チを行いました。慶応、早稲田、立教、中央の各大学の有志からもメッセージが寄せられました。終了後、参加者は国会議事堂前

の光り幹事長が出席。自民、公明を除く各会派に共同を呼びかけた大

山氏は「法案の強引な採決に反対する、この一致点での共同を確認した。採決の阻止に全力を尽くす」と訴えました。

都議会6会派が宣伝

新宿駅前 党派超え緊急アピール

東京都議会の日本共産党（17人）、民主党（15人）、維新の党（5人）、生活者ネット（3人）と無所属の2会派（2人）の6会派は15

日、安保関連法案の強引な採決に反対する「超党派の緊急アピール」を発表し、新宿

駅西口で街頭宣伝に取り組みました。共産党、民主党、生活者ネットの都議有志が横断幕を掲げながらリレー発言。「憲法違

反の法案は廃案しかない。議会制民主主義を順守強行採決は通させない」と、党派を超えて

「たたかう」（共産党・曾根はじめ都議）、「国民が国を監視する権利、侵奪させてはならない」（民主克・浅野克彦都議）、「立憲主義に反する法案の強行採決は、阻止しかない」（ネット・西崎光子都

議）などと訴えました。

仕事帰りで宣伝を聞いていた横浜市の男性（64）は「外交をせず戦争法案を通そうとする安倍自公政権は、絶対許せない」と話していました。宣伝に先立ち、都庁内で開いた記者会見に